

---

# 3月21日に解除すべきか

2021年3月16日

藤井大輔(東京大学)

仲田泰祐(東京大学)

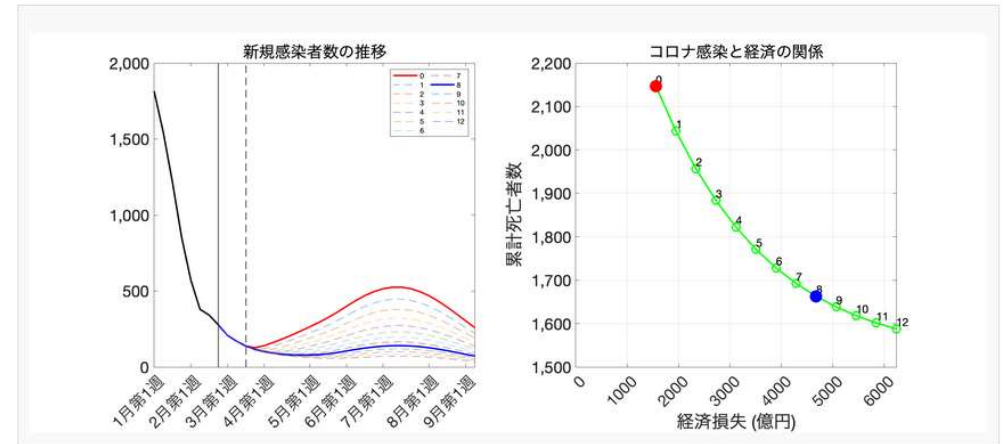
# 2週間前の東京での見通し (3月3日)

[https://covid19outputjapan.github.io/JP/tokyo\\_20210303.html](https://covid19outputjapan.github.io/JP/tokyo_20210303.html)

注: 数字Xは「宣言解除後X週間かけて経済活動を昨年秋のレベルに回復させる」という意味

## 2. 東京での緊急事態宣言解除後の「経済促進ペース」分析

### (A) 基本シナリオ

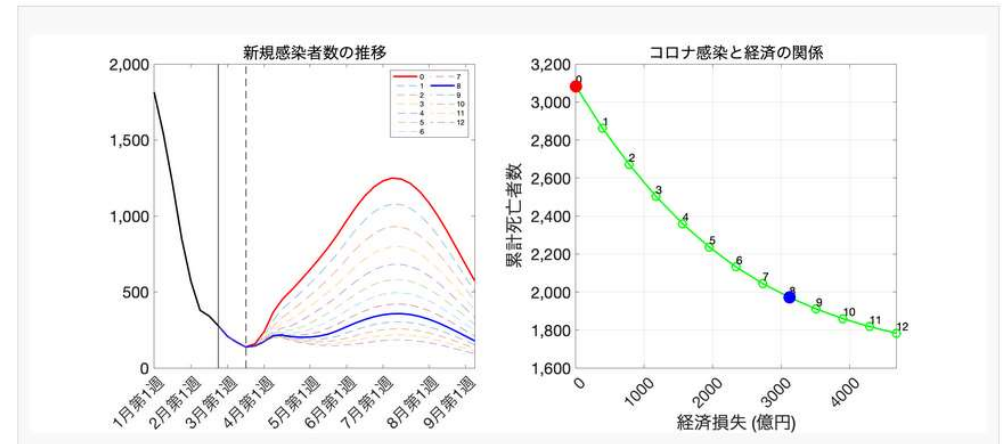


この図表のバックデータは[こちら](#)からダウンロードしてください。

出所: 著者達の計算による。

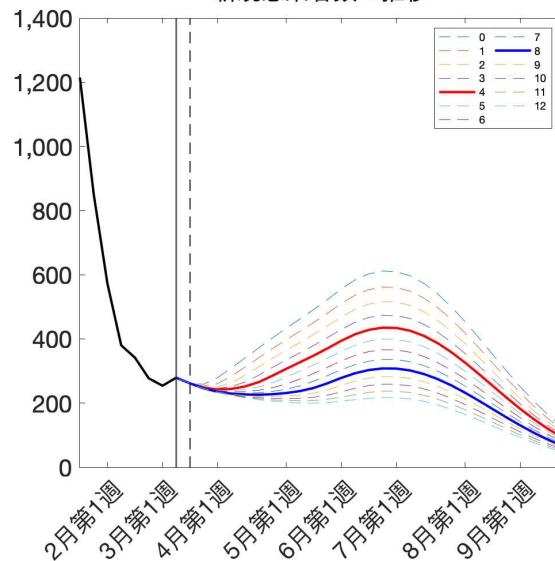
- この図をどのように理解すべきなのかは、このページ[\[ここをクリック\]](#)の解説を参考にして下さい。

### (B) 「年度末気の緩み」シナリオ

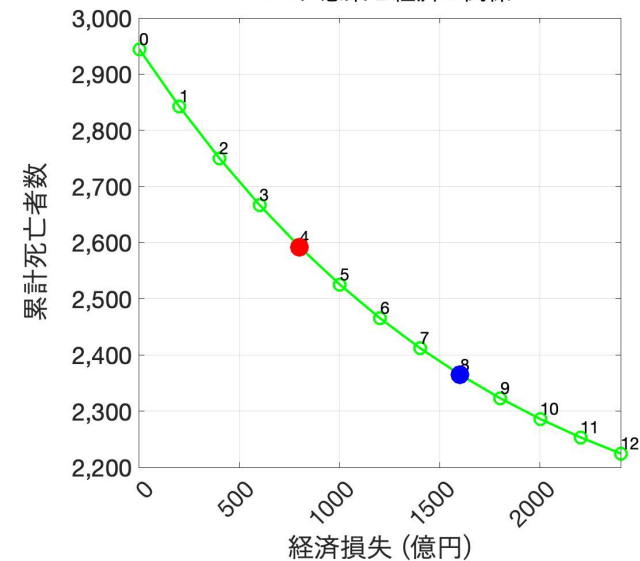


# 現在の東京での見通し

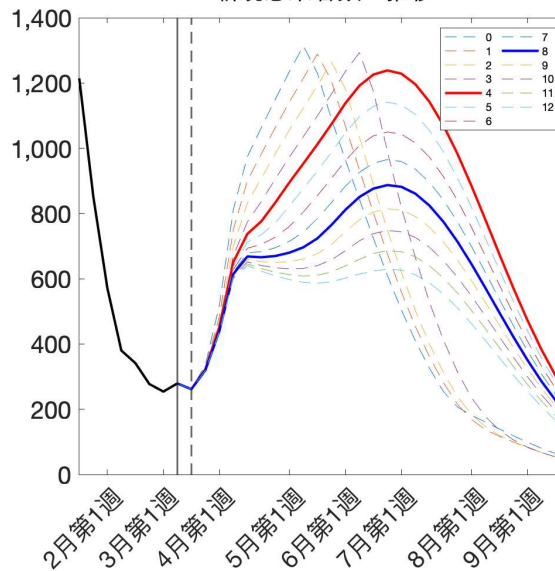
新規感染者数の推移



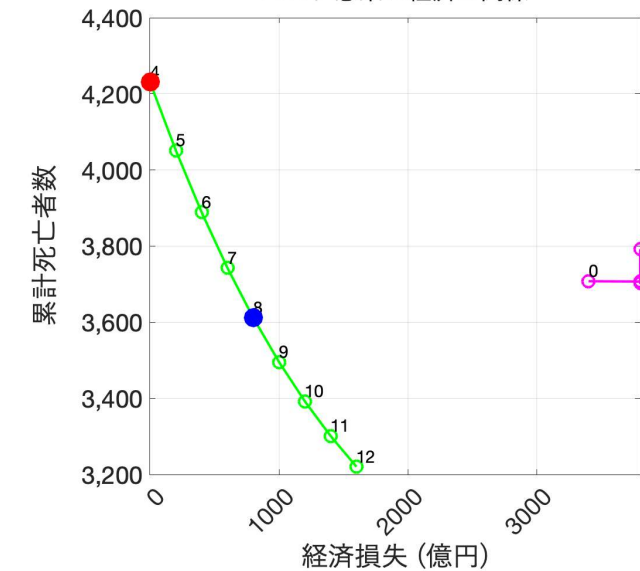
コロナ感染と経済の関係



新規感染者数の推移



コロナ感染と経済の関係



注: 数字Xは「宣言解除後X週間かけて経済活動を昨年秋のレベルに回復させる」という意味

# 現在の見通しと2週間前の見通し

- 新規感染者数・累計死亡者数の見通しは悪化
  - 2週間前は「0」、今週は「4」を赤線で見せているので少し比較しにくいけれど...
  - この2週間での感染者数下げ止まり・増加が理由
  - 上では東京のみを見せたが、近隣3県でも同様のことが言える
- 2週間前も現在も、東京・神奈川の見通しは千葉・埼玉よりも明るい

# 現在の見通しと2週間前の見通し

- 経済見通しは(残念ながら)比較しにくい
  - 直近のGDPのデータは存在しない。かなり雑に推定している
  - なので、ある週での2つの政策下での経済損失見通しの比較はできるが、別の週との比較は(確信をもって)出来ない
- おそらく2週間前よりも見通し悪化
  - さらなる緊急事態宣言延長で負荷がかかるであろう多くの企業・個人に関する様々なエピソード(“Anecdotal Evidence”)

# モデルには考慮されていない要素

## ■ 医療体制

- 2週間前より改善

## ■ 変異株リスク

- ここ2週間で1都3県で新たな変異株感染が数多く報告
- が、現在の変異株割合・これからの推移に関しては、かなりの不確実性
- 我々の知る限りでは、変異株割合のこれからの推移に関する具体的な見通しがどこからも提示されていない
- 従って、このリスクがどのように「感染症対策と経済活動の両立」に影響を与えるのかを考えづらい
  - 参考資料: (3月7日)「感染症対策と経済活動の両立:不確実性がある中での政策判断」

# 慎重な解除＝経済に配慮した延長

## ■ 2月上旬と違って、白か黒かではない状況

- 参考資料: (2月23日)「“解除時期の模索”から“リスク管理”へ」
- 参考資料: (3月2日)「3月7日に解除すべきか？—1か月前の見通しと現在の見通しの比較から言えること—」
- <https://covid19outputjapan.github.io/JP/resources.html>

## ■ 「解除か延長か」ではなく、「何が賢明な解除か」、「何が賢明な延長か」

- おそらく、地域によって感染見通し・変異株リスク・医療体制が異なることを考慮することが賢明
- 一つの県の中でも大きな異質性
  - 例えば、千葉県松戸・市川市(東京に近い)と千葉県館山・銚子市(東京から遠い)

- 毎週火曜日分析を更新

<https://Covid19OutputJapan.github.io/JP/>

- 質問・分析のリクエスト等
  - [dfujii@e.u-tokyo.ac.jp](mailto:dfujii@e.u-tokyo.ac.jp)
  - [taisuke.nakata@e.u-tokyo.ac.jp](mailto:taisuke.nakata@e.u-tokyo.ac.jp)